



うしおのよい子



尼崎市立 潮 小学校

秋はすぐそこに、様々な体験を！

校長 南川 貴子

朝晩吹く風がひんやりと、秋の気配が感じられるようになってきました。この暑さは、いつまでつづくのかと、ふと見上げた空にはうろこ雲。秋はもう、すぐそこまできています。

9月に行った夏休み作品展、オープンスクールに、たくさんの保護者の方に来ていただき、ありがとうございました。学校でのお子様の様子は、いかがでしたか。普段、どんな風に過ごしているのか、お子様から聞く話だけでは分からなかったことも、見ていただくことで、「あ～、このことだったのか。」と知っていただけます。それぞれの教室では、いつも以上に張り切る子どもたちの笑顔が、たくさん見られました。お家の方に見ていただき、学校で頑張っているねと、たくさん褒めていただくことが、次への頑張りの励みになります。「今日はどんなことをしたの？」とまた、たくさんお話してください。

学校は小さな社会 ～転んでもいいんだよ～

「転ばぬ先の杖」という言葉があります。前もって用心し、十分に準備をして入れば、失敗することがない、という教訓を表すことわざです。災害や急な事故などに備え、あらかじめ予測し、準備しておくことはとても大切です。学校においても、大きく「転ばぬ」よう、安全な環境を整えたり、ルールを決めたり、大人が心構えを持っておくことは大切です。ですが、毎日の生活で、転ばないようにと先回りし、大人が介入しすぎると、子どもは、どうなるのでしょうか。転ぶこと、失敗することを怖がり、「失敗しそうだからしない。」もしくは失敗した時に、他の人のせいにするでしょう。自分は、どうしたいのか、どうすればよかったのかを考えることはできません。

私たち大人は、とすると「トラブルを起こさないように。」「つまづかないように。」と、子どもたちの目の前にある困りごと(小石)を、大人が先まわって解決(回収)したくなります。もちろん、いじめや命にかかわることなど大きな事案はすぐに介入すべきですが、小さな失敗やトラブルは、子ども自身が、どうしたいのか考えさせることが大切です。いつでも大人が解決してくれる、大人の言うとおりにすればよい、という環境は、自分で考える機会を奪ってしまいます。

学校は小さな社会であり、友だちとのトラブルや小さな失敗は、日常的にあります。トラブルや失敗は、上手くいかないことがある、ということを学ぶ機会です。そこから、自分で考え、乗り越え、解決することが、社会で生きていくうえで大切な学びになります。もちろん、初めからすべて子どもたちで、解決できるわけではありません。転んだときに、「大丈夫。」と支えつつ、どうすればよかったのかと一緒に考える。そして、子どもが次にどうすればよかったのかと考えられるように、支え見守る。子どもが自分の力で解決できるよう、この支え見守る覚悟が、大人には一番必要だと感じています。9月の学校だよりでお話した、矢野元監督の「失敗はない。失敗は成功の途中。」という言葉に心を留め、伸びようとする子どもたちを、保護者の方とともに支えていきたいと思います。

今月は、体育大会があります。暑い中ですが、見ていただくのを楽しみに、練習に励んでいます。運動が得意な子ばかりではなく、走るのが、苦手、ダンスは得意じゃないという子もいます。大切なことは、なりたい自分に向かって一生懸命頑張ること、得意でも苦手でも、「がんばった！」と胸を張って言えたら、素敵ですね。

子どもたちが一生懸命取り組む姿を、どうぞお楽しみに！

読書週間始まる！

潮小学校では、木曜日の25分休みに、図書ボランティアさんが、読み聞かせをしてくださっています。雨の日や熱中症指数が高い日には、たくさんの人が図書室を訪れ、本に親しんでいます。図書委員や図書ボランティアさんのおかげで、潮小学校には、本好きな子どもたちがたくさんいます。

本校では10月27日から読書週間が始まります。読書の秋をたっぷりと感じてほしいです。

「小学生からやりなおす」

本校で地域の方を招いた「小学生からやりなおす」を開催しました。小田地域課主催で、潮小学校にて、朝から下校まで、小学生の一日を体験していただきました。

国語や図工、外国語の授業を受け、給食準備も自分たちで行いました。給食は、参加者の一番の楽しみです。おいしい、おいしいとおかわりもしていました。昼休みには、タブレット体験をしていただきました。

参加していただいた方からは、何十年かぶりに、小学校の門をくぐり教室に入った、思った以上に子どもたちは忙しく、たくさんのことを学んでいるんだな、と感じたなど、たくさんの感想をいただきました。



行事予定

10月1日(水) 4年 浄水場見学

6日(月) 朝会・委員会

7日(火) 就学時健康診断(13時頃下校)

9日(木) 代表委員会

17日(金) 1～5年(一部の委員会の児童以外)

給食終了後下校

5年(放送・給食・体育委員会)・6年

5校時終了後下校

18日(土) 体育大会

19日(日) 体育大会(予備日)

20日(月) 体育大会代休日

21日(火) 6年 連合体育大会

24日(金) 短縮校時・給食停止(お弁当日)

27日(月) 児童集会 3年 自転車教室

27日(月)～11月7日(金) 読書週間

27日(月)～31日(金) いずれかに避難訓練実施

29日(水) 4年3組以外給食後下校



令和7年度全国学力・学習状況調査の結果について



毎年、全国の小学校6年生を対象に、全国学力・学習状況調査が行われています。
その結果が公表されました。

今年度は、国語と算数に加え、理科の調査も行われました。調査の傾向として、算数、理科などは、計算の答えを書くのではなく、答えを導く考え方や解き方を説明したり、回答したりする問題が増えていました。

兵庫県の各教科(国語・算数・理科)の平均正答率は、全国と同程度でした。尼崎市の平均正答率も全国及び兵庫県と同程度になり、尼崎市全体の学力が向上してきていると言えます。本校の平均正答率は、全部の教科で全国の平均正答率を上回っています。また、無回答率が低いことから、最後まで粘り強く、答えを導こうと取り組めています。

児童質問紙によるアンケート結果からは、「読書が好き」「算数・理科が好き」と回答した児童が多くいました。また、ICTを活用した学習に、前向きに取り組んでいることが分かりました。学校の授業時間以外の学習時間についても長くなっていて、ご家庭での生活習慣の確立や励まし、地域との学びの連携など、日ごろからご協力いただいている結果であると感謝しています。

学校では、数値に現れる学力だけではなく、自分で疑問を持ち、解決のために計画を立て、対話を通して深く学んでいく姿勢も大切にしています。そのほかにも、体験的な活動や人間関係を築くこと、達成感の積み重ねから育成される自己肯定感や自己有用感を、今後も授業や行事等で高めていけるよう努めてまいります。

令和7年度 全国学力・学習状況調査の平均正答率

平均正答率 %	国 語	算 数	理 科
本 校	75%	69%	65%
尼 崎 市	67%	58%	55%
兵 庫 県	68%	59%	57%
全 国	67%	58%	57%



令和7年度
全国学力・学習状況調査(尼崎市)